

● 相模原事件から4年…

どう 考えたら いいんだろう？

【あなたへ】

- ▶2016年7月26日未明、寝静まった障害者施設で重い障害をもつ人たちがほとんど抵抗もできずに襲われ、19人の命が奪われました。あれから4年。2020年1月から横浜地裁にて公判が始まり、3月16日に判決が出され、30日、被告の死刑が確定し、死刑執行を待つのみになってしまいました。
- ▶事件の背景にひそむ様々な問題を深めることなく、又、被告の更生もなされないまま事件が終結してしまうことになりはしないか？
- ▶障害を持つ人たちが持つ無限の可能性を否定し、人間の「生きる資格」を提起した犯人。「生きる資格」を問うとき、この問題は障害者問題としてだけでなく、人間全体のあり方まで問うているのではないのでしょうか。
- ▶私たちはこれからも、相模原事件を忘れない取り組みを続けていくために、今年も「100文字メッセージ」の取り組みを進めることとしました。
- ▶ぜひご一読いただき、ご自身のこと、子どものこと、家族や親せきのこと、友人のこととして、考えてみていただければ幸いです。

【相模原事件とは】

相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で2016年7月26日未明、刃物を持った男が入所者らを襲い、19人が死亡、26人がけがをした事件。亡くなったのは41～67歳の男性9人と、19～70歳の女性10人。第二次世界大戦以降、殺人事件としては最も犠牲者の多い事件となりました。

犯人は26歳の施設の元職員でした。

犯人は、障害者のことを「自分で意思表示ができない重い障害者は生きる資格がない」「税金のムダ」などと言い、「障害があって家族や周囲も不幸だと思った。事件を起こしたのは不幸を減らすため。殺害した自分は救世主だ」などと供述しており、そうした言動は、4年を経過する今も変わっていないということです。

「相模原事件を忘れない2020 100文字メッセージ委員会」

1

今回の事件、裁判の判決を通し福祉施設で働く職員として、いろいろな事を感じ、考えさせられました。自分自身は利用者に対し、普段どのように感じ接しているかを振り返ることができ、二度とこのような事件が起きてはいけないと強く感じました。

年輪の園 職員

2

障がい者をターゲットにし、惨殺を行った犯人に死刑判決が下りたが、惨憺たる事件から4年経った今も衝撃は忘れられない。命の価値とは何なのか？自問自答しても答えは見えないが少なからず人を殺めた人にかげがえのない命の価値を押し量ることはできない。

年輪の園 職員

3

犯人の行なった行為は許されるものではない。我々もそのようなことがないようにしっかりと肝に銘じて利用者支援にあたっていきたい。障がい者が対等に生活できる社会になることを切に願う。

わかたけ作業所 職員

4

「相模原」という言葉を聞くたびにこの事件のことを思い出します。障害を持つ人たちと日々向き合っている職員として犯人にはひとつも賛同できません。「生きる資格」は誰にでも平等にあると思います。

わかたけ作業所 職員

5

植松被告に死刑判決が下りましたが多くの問題が残りました。ネット上での優勢思想に賛同する書き込みや植松被告を生んだ社会的背景など。事件の本質が見えないまま、終わらせることはできません。

小宮雅之 (わかたけ作業所)

6

相模原事件から4年。死刑と判決が下されたものの、命を奪われた家族にとって決して怒りや悲しみは消えないはず。しかも今だ変わらない言動。せめて、この被告の異常なゆがんだ思考を改めてほしい。

わかたけ作業所 職員

7

この世に命を授かった人には生きる権利があるし、命の重さは皆同じだと思います。他人の気持ちは理解することは出来ませんが、大切な人を失う辛さはわかります。命の価値を決めつけたいです。

わかたけ作業所 職員

8

命は大切です。みんな誰かの大切な人です。差別はあるかもしれない。悲しいけど、なくなってしまうかもしれない。でも、忘れないでいてほしい。私の娘は言います。「花も虫も生きているからね、大事、大事」命は大切です。 福山未帆 (わかたけ作業所)

9

『愛の反対は憎しみではなく無関心です』という言葉があります。この事件に無関心になってきている自分があります。自分や社会の問題として捉え、これからも考えていきたいです。無関心にならないように。 谷尾智恵（わかたけ作業所）

10

想像してください。大切な家族・友人を「生きる資格がない」傷つけられる事を。あなたが誰かを大切だと思うようにその人も誰かの大切な人に違いありません。想像力とちょっとした理解が互いの共存につながると思います。 わかたけ作業所 職員

11

個人の主観的な考えだけで判断や行動をしてはならず、客観的な意見を大切にし、法に則った行動をしていかなければならないと改めて思われる。決して風化させてはならない事件であり、その都度見つめ直していく。 わかたけ作業所 職員

12

「仕事が楽しい」植松被告のその思いは、私も同様に感じていること。〈閉ざされた組織内の環境設定によって戦争や虐待のメカニズムは発動する〉。仲間・職員にとって風通しの良い職場、伝え合えることが重要。 内田悦子（わかたけ作業所）

13

決して同じことを繰り返してはいけない事件だと常々考えています。犠牲となった被害者を始め、家族や関係者の方々を思うといたたまれない気分になります。同業者として人として忘れてはならない事件だと思います。 堺 琢哉（わかたけ作業所）

14

「生産性がない」「税金の無駄」だと切り捨てるなら？例えば、認知症や寝たきりになったら、皆不要な命だと切り捨てられる。この論調は、それを発する人も含め、全ての人間の命を奪う危険性をはらんでいる。 ト部善行（筑後市社会福祉協議会）

15

この犯人の中に障がいに対する差別意識が生まれたのはなぜだろう。出来ないことがその人の人生を否定するような考え方になぜなってしまったのだろう。犯人のことを考えながら自分を見つめるきっかけになった。 相談支援センターホープ 相談員

16

それぞれにどんなおもいがあったのか。事件をふりかえり、私も自分自身に問いかけることを続けたい。 相談支援センターホープ 相談員

17

事件の背景にある福祉の実情に目を向けることなく、被告の死刑判決で終わらせてはいけない。この問題は私たち一人一人のあり様を問われている。命を奪われた方の無念さに向き合いわが身も正していかないとはいけない。 相談支援センターホープ 相談員

18

今年3月、判決が言い渡され自ら控訴を取り下げたことで刑が確定。本人からは一度も謝罪の言葉を聞くことがなかったという。今、彼は何を思い、何を考えるのか。大切な人を失った悲痛な思いは消えることはないだろう。 相談支援センターホープ 相談員

19

命ある毎日を当たり前のように過ごしがちである。毎日は奇跡の積み重ね、実はありがたいこと。どんな理由であれ、命は尊い。私たちは、命の尊さを真剣に考え、これから続く未来へとつなげていかなければならない。相談支援センターホープ 相談員

20

障害を持つ人から学ぶものがたくさんある。せっきく障害者施設で働くのであれば、もっと彼らと向き合い、知り、一緒に「生きよう」と思ってほしかった。向き合い、知り、学び、「強く生きる」ことを伝えていきたい。 地域生活応援センターやまさん 介護職員

21

事件から4年が経過したが、あの日の衝撃は忘れられない。同じ障がいのある利用者に関わる人間として家族を失ったようだ。犯人は「障がい者はいなくなればいい」と言ったけど、いなくていい人間はいない。 地域生活応援センターやまさん 匿名

22

相模原事件から早くも4年、非人道的で犯人は間違っただけで犯行に及んだこと終わらせ風化させてよいのか。事件のことを振り返る、同じ職場の仲間たちを思いやる、助け、支え合うことが今の私たちにできる第一歩。 地域生活応援センターやまさん 匿名

23

今後このような悲惨な事件が起こる事のないよう、私たち一人ひとりが何を考え、どう障がい者と向き合っていくかが課題ですね。少なくとも今の私は障がい者と一緒に過ごす時間を不幸だとは思いませんよ。 地域生活応援センターやまさん 匿名

24

「意思疎通のできない重度の障害者には不幸かつ社会に不要な存在であるため重度障害者を安楽死させれば平和につながる」という思想を持った最悪の大量殺人事件。早く死刑を望む。人間ではもはやない。悪魔である。下川恵子（地域生活応援センターやまさん）

25

死刑という決着でいいのか？犯人は就職時と犯行時の考え方がかなり変化している。何故このような考えに変化していったのか、あまりの変貌にしっかりした背景がわからないと、今後も起こりえる事件ではないのか。 地域生活応援センターやまさん 匿名

26

事件が起きて4年を迎えようとしています。被告の判決が出ましたが殺傷の被害を受けた遺族にとっては悲しみを一生、背負い生きていかねばならない。二度とこのような事件が起きないような社会を共に考えていきましょう。原田親志（地域生活応援センターやまさん）

27

この事件から私は、障がい者も健常者も等しく生きることが、社会全体が共有しなければならない。そのことに一人でも多くの人意識してほしいと思います。生まれてきたこと、生きていることに意味があるからです。地域生活応援センターやまさん 匿名

28

4年近く経つ相模原事件を今でも鮮明に覚えています。障がい者施設で働く上で人間と接していくときに尊厳とは何かといまでも考えさせられます。何年経とうとこの事件を忘れることなく福祉従事者として務めます。甲斐隼（地域生活応援センターやまさん）

29

相模原事件は、私達のような障害者施設従事者だけでなく、社会全体に衝撃を与えました。従事者は、障害者の代弁者であるべきなのに、自分の意思を伝えきれない者は生きる資格はないという言葉は、信じられない。地域生活応援センターやまさん 匿名

30

「生きる資格」とは何だろうか。誰が決めるのであろうか。この世に必要なのないいのちなんてあるわけないのに。みんなキラキラと輝いているいのちなのに。境 沙也（地域生活応援センターやまさん）

31

自分の意思とは関係なく「弱者」となっている人達がいる。その人達の生きる権利を奪い、いまだ何の反省も感じられない犯人。どうすれば、そのような考えの人間が減るのだろう。地域生活応援センターやまさん 匿名

32

日本はまだまだ、障害者と健常者が分けられている環境が多い。生まれた時から同じように生活していくことがあたり前だと誰しもが思える国に、私達がしていかなければいけない。地域生活応援センターやまさん 看護職員

33

重度の障害者だけを殺害し、日本のために行ったという身勝手な犯行には呆れるばかりです。しかし、被告が働いていた施設自体も、意味のない身体拘束を行っていたことを知り、その環境にも問題があったと思いました。地域生活応援センターやまさん 介護職員

34

絶対に忘れられない。忘れてはいけない。この世に生まれてきた全ての人に生きる資格は平等にあるのだから。どれだけ法で裁かれたとしても被害にあって命を落とした方は生き返ることもないし、傷が癒えることもない。多久島幸太（地域生活応援センターやまさん）

35

人間だれにでも生きる権利があるのに、犯人は今回亡くなった方々の人生を奪ってしまっただ。亡くなった人達は、どんな気持ちだったかと思うとやりきれません。

地域生活応援センターやまさん 匿名

36

健常者も障害を持つ人々も生きる価値観は同じであり、命を奪う権利は誰にもないはずである。障害者を差別したこのような悲惨な事件を二度と起こさないよう祈るばかりである。

地域生活応援センターやまさん 匿名

37

意思疎通がとれない障害者は不幸だと植松は言う。私たちは意思疎通が困難な方々に対し、少しでも本人の思いを知ろうと、少しでも意思を確認しようと、人生を実りあるものにと彼らと向き合っている。同じ尊い命だから…

地域生活応援センターやまさん 匿名

38

衝撃を受けた日から4年余り。入所者の方々や家族、職員は苦しい日々を送っている。しかし、被告は、苦しく辛い思いをすることもなく死刑を待つだけ。死刑までに被害者と同じような思いを感じる機会を持ってほしい。

地域生活応援センターやまさん 匿名

39

生きる資格は他者が決めるのではない。自分自身が見出すことである。加害者こそ生きる資格を考えてほしい。

地域生活応援センターやまさん 匿名

40

障害者も健常者と同じ人間であり、尊い命を持っている。犯人の障害者に対する差別や思考の偏りによって起こった悲しい事件。私自身、障害者と日々関わっており、心から事件を痛ましく思うと共に、絶対に忘れない。

地域生活応援センターやまさん 匿名

41

相模原市の津久井やまゆり園で起きた事件から4年が経ちました。健常者、障がいのある方関係なく生きる資格は平等にあるということを改めて考える機会になりました。

地域生活応援センターやまさん 匿名

42

死傷者45名を出した相模原事件から4年を経過した今でも、無差別ではなく障害者を狙った犯行を理解することはできないが、決して忘れさられ風化されることはあってはいけない、忘れてはいけない。

地域生活応援センターやまさん 匿名

43

事件から4年が過ぎて、ニュースでも取り上げられることが減りましたが、被害に合われた本人達や家族の方々の傷は一生消えることはないので、せめて偏見や差別のない社会になってくれたらいいと思います。

地域生活応援センターやまさん 匿名

44

心の中で勝手に思うのは自由だと思うが、誰かの命やその人の人生を勝手に奪う権利はないと思う。ましてや、支えている側の職員は…。十人十色が居る世界。どんな人も住みやすい、過ごしやすい世界が来ればいい。地域生活応援センターやまさん 匿名

45

自分勝手な考え思い込みで、人の生命を奪ってはいけない。障害があろうとも病気を患っていようと、誰かの大切な人であり、尊い命だと思う。

地域生活応援センターやまさん 匿名

46

多くの命が消え、多くの人が傷ついたこの事件。悲しくてやり場のない事件は、もう2度とおきてほしくないです。

地域生活応援センターやまさん 介護職員

47

理由が何であれ、人の尊い命を奪う事は許させない事です。皆各々誰かに必要とされている命だと思います。被告の命も…。命の大切さを今一度考えてほしいし、私達も見直していきたいと思います。

地域生活応援センターやまさん 匿名

48

人種差別は海外でも起きているが人はみな平等であることを、みんなそれぞれに個性がありそれを認め合える世の中になってほしいです。障がいがあって何が悪いのか、それを教えてほしいです。

慈久園 匿名

49

コロナに対する医療者の献身的な姿に多くの方が拍手を送った。そのコロナ禍に、「新出生前診断」が国と医療者によって押し進められていたことを、数日前の小さな記事で知った。選別される生命は止まらないのか。

諸藤泰男 (慈久園)

50

誰もが犯人になりうる…。何かにつけて比べたがるのが人間で、無意識に優劣をつける。この事件を、むごい事件が起きたということで終わらせるのではなく、自分たちの考え、行い、これから先を考え続けていきたい。

慈久園 匿名

51

弱者(障害、病気等)は到底、自分の力で防ぐことはできない。また、誰もがなりうることを想像してほしい。弱さの中でお互いに助け合い、情も出てくる。弱者は不要ではなく、誰もが「生きていい」という世の中になってほしい。

慈久園 匿名

52

犯人の間違った障がい者への解釈や自己満足のため、多くの方が亡くなったこの事件。今後このような悲劇を繰り返さないよう、お互いを尊重しあえる社会になるよう心から祈ります。

慈久園 匿名

53

自分の大切な人に同じことができますか？人に付けられたキズは、一生消えません。
慈久園 匿名

54

障害とは、私たち一人ひとりがみな違うように、障害も一つの個性として捉えてみてはどうだろうか。障害者施設にも私たちと同じように日常を楽しむ姿がたくさんあり、決して不幸ではない。
慈久園 匿名

55

相模原事件からもうすぐ3年経とうとしています。この事件に限らず、高齢者や施設で起きた事件のことを忘れずに障害者、高齢者に対して偏見を持たずに同じ立場に立って向き合っていこうと思います。
慈久園 介護職員

56

被告に判決が言い渡され、被告の希望どおりになったことは不愉快でしかない。動機がわからないまま終わったと嘆く被害者の父親の気持ちは哀れでならない。もどかさやモヤモヤが消えることはない。
慈久園 匿名

57

共に生きる。人は一人では生きていけない。みんなで助け合って寄り添って笑顔で過ごせる世の中を望む。
慈久園 匿名

58

植松被告に死刑判決が下った。4年が経過し、あの時の衝撃も薄れ、この事件は終わったと思う人も多い。「生きるに値しない生命はあるのか」という根源的な問いを投げかけたこの事件を忘れずに障害者と関わっていきたい。
慈久園 匿名

59

殺害された方々にもそれぞれの将来が待っていたと思います。犯人によって消された命を忘れてはなりません。お互いを認め合い、共に生きることのできる社会を目指したいです。
慈久園 匿名

60

障害のない人でも自分の意思をしっかりと伝えられない人もいると思う。障害者を狙ったのは、襲っても抵抗されないと考えたからだろう。犯人はただの卑怯者だ。人が生きる資格を他人が決める権利はないはずだ。
諸藤裕士 (慈久園)

61

誰でも人生は一度しか経験できないもの。だからこそ丁寧に大切にすべき。それは自分だけではなく、誰に対しても。そのことを常に頭にいれていれば、こんな悲しい出来事は起きなかったはず。
古賀新也 (慈久園)

62

この事件は、人の在り方を考えさせられる事件であり、決して風化させてはならないと思います。自分自身も介護従事者として障がいのある方と共に生きていける共生社会作りを目指していきたいと思いました。

井上恵美子（慈久園）

63

失われて良い命や、意味のない命は一つもない。かけがえのない命ばかりなのだから、大切に守っていかなければならない。その命がまた次の命に繋がれていき、たくさんの人の心を癒し支えていくものになるのだから。

新川久美恵（慈久園）

64

やまゆり園の大量殺人事件当時、わが目を疑いながら画面に釘付けになった記憶が今でも忘れられない。判決が決まった今、被告は死んでも償いきれない。これからもずっと命の尊さを問われ続けなければならない。

三谷はまこ（慈久園）

65

何年経っても希望の日や出発の日のたびにこの事件を思い出します。利用者と過ごす何気ない日々がとても大切だということ。当たり前だけど利用者も想いを持っているということ。

慈久園 匿名

66

2016年7月26日、19人の命を奪った犯人がテレビに映った姿は、罪の意識が全くなかったが、月日が経ち我に戻ったとしたら、毎晩眠ることもできずに、ただ後悔の日々を送りながら余生を送ることになると思う。

慈久園 介護職員

67

死刑になった本人の思い通りになった、というよりは、するしかなかったとういうところなのだろう。でなければ国民は納得せず裁判官の将来に関わるということか。国民の8割が死刑賛成なのだから、仕方ないのか。

慈久園 匿名

68

事件から約4年、障害を持つ方と日々関わる中で、いまだに衝撃と事件についての世間の捉え方やコメントが多様であることに戸惑いを感じる。私達は、日々「この日」を忘れず、自分を見つめて暮らすことが大切に思う。

横山久子（慈久園）

69

自分も迷ったり悩んだりすることがあります。そんな時、入所者の笑顔や言葉で元気が出ます。どんな理由であれ、人の命を奪うことは許されないと思います。被告には悩みを相談するような人はいなかったのでしょうか。

井上 剛（慈久園）

70

みんなが生きやすい世の中にしないといけない。誰かが誰かの命を勝手に奪ってはいけない。みんなのできることを少しずつやっていかないといけない。

慈久園 匿名

71

あの事件からもうすぐ4年が経過しようとしています。他の事件を見ると同時に、この事件を思い出します。同じような人が増えると、このようなことは起きないと思い、日々願うばかりです。

慈久園 匿名

72

相模原事件を忘れない。利用者に関わり健康でいるのが当たり前ではないといつも感じる。利用者から、長生きしたいとの言葉を聞きとても嬉しかった。一人でも多く、そう思って頂くよう一生懸命支援していきたい。

慈久園 匿名

73

人間の「生きる資格」を誰もとやかく言う資格はないと、率直に思います。障がいを持つ方々は、好んでそうなったわけではなく、先天性や後天性等何らかの理由でハンデを抱えているにすぎないのである。

慈久園 介護職員

74

毎年、7月26日がくるたびに、決して忘れない、忘れてはいけないと思う。意思疎通が難しい人こそ、コミュニケーションの大切さ、その人を理解しようと思う。福祉に携わる職員として…。

荒木龍治 (慈久園)

75

一人ひとりの人権を大切にする必要があると思う。特に入所施設は、外部の人との関わりが少なく、閉鎖的になりやすいので、職員が人権について学ぶ機会を取り入れていかなければならないと感じた。

赤坂力登 (慈久園)

76

きっと幾年月が流れようとも、私達は彼らのことを忘れはしないだろう。何世代にも渡ってこの事件を語り継ぎ、人として生きることを考え続け、彼らの冥福を永久に祈り続けよう。

慈久園 介護職員

77

世間を震撼させた相模原事件。犯人は死刑を望み、その通りに求刑された。それしかないのだろうと思うが、人を殺すという平常では考えられない行動に走らせる環境を作ったのも人だったのではないのか。

塩塚和代 (慈久園)

78

この事件は忘れたくても忘れられない事件で、罪のない人を無差別かつ残酷な仕打ちをした出来事。人の命を何とも思っていない。こういう事件は二度と起こしてはいけないし、忘れてはいけない事件だと思う。

慈久園 介護職員

79

障害があって生まれてきたとしても、与えられた命は平等で生きる権利はあります。この事件が繰り返されないためにも、命について一人ひとりが真剣に考えていく必要があると思います。
慈久園 匿名

80

日本を襲っているコロナウイルス、日々テレビで報道されているが、相模原事件があったことを、私も含めてどれくらいの人が覚えているのだろうか。忘れてはいけない大切なことを継続して考えていきたい。
慈久園 匿名

81

事件が起こって4年の月日が経ちました。多数の死傷者を出し、人々の心を傷つけた悲惨な事件。福祉の仕事に携わる者として障害者も共に生きる人間なんだと伝え、二度とこんな事件が起きないようになればと思う。
慈久園 匿名

82

この大量殺人事件を忘れてはいけない。事件を起こした職員に焦点がいきがちだが、被害者家族の心の傷は相当深い。死を救済だと思い込み、暴力を振るう等してはいけない。皆、平等に命があるのだから。
慈久園 匿名

83

心身に障害を持って生まれただけでも、業を背負っておられるのに、なぜ自分の命の価値を他人から勝手に凶られ、奪われなければならないのでしょうか。一人ひとり精一杯生き、何かを感じておられると思います。
小柳清子 (慈久園)

84

日常支援の中で常にこの事件を意識しているわけではないが、忘れられない事件です。命の選別はあってはならない。犯人の更生は望めないようだが、障害者に対する偏見はなぜか？生きる権利、他人が決めるものではない。
慈久園 介護職員

85

いつになれば、ヘイトを恐れずに安心して暮らせる社会になるのでしょうか。私たち大人にできることは、正しい知識を身につけ、歴史を学び、子ども達に伝えていくことです。この問題は、私たちの問題です。
慈久園 匿名

86

障害を持っているだけで、その人を否定する考え方自体が間違いの元であると思う。障害も個性と思える、優しい社会を目指していかなければ、このような事件は減らない。一人一人が他者を受け入れることが大事。
慈久園 介護職員

87

とても残念な気持ちになりました。障がい者に対して差別的な思考を抱いたまま、刑を執行されるなんて。障害者に差別的な考えを持っている人は少なからずいます。そういった考えを持つ人がいなくなる世の中にしたい。
慈久園 匿名

88

大きな衝撃を受けた相模原事件を振り返るたびに、命の尊さについて考えさせられます。「全ての人の命の重さは平等である」と思う反面、犠牲者や犯罪の大きさを思うと、死刑は当たり前だと思う自分がある。何が正しいのか。
慈久園 介護職員

89

残酷な事件を許されてはいけない。私達以上に無限の可能性を持ち何に対しても一生懸命に取り組み、実現されている方は多いと思う。その方達の夢をサポートし実現に向けて取り組むことが大切である。
太田真理子 (慈久園)

90

入所施設の中で見守り困難という安易な身体拘束、これも相模原事件が起こった要因の一つではないでしょうか。障がい者支援施設で働く者として、他人事ではありません。私達の支援を見直し、同じ過ちを繰り返さない。
慈久園 介護職員

91

相模原事件から月日が過ぎテレビでの報道なども殆ど見られなくなりました。一年に一度こうした機会にでも、亡くなられた方々の事を考えることができる事に感謝します。
慈久園 介護職員

92

福祉の仕事は天職だと言っていた人間が数年後には、意思疎通ができない障害者は生きる資格がない等と発言し残虐な犯行に走った。その過程にはどういう心の変化があったのか。同じ人間として問い続けるしかないと思う。
中山陽一 (筑後わかたけ福祉会)

93

昔、障害者施設での虐待は日常化していた。親も障害が重い子を早くに施設に預けて後は預けっぱなしでほとんど施設に顔も出さないという状態があった。かわいそうに思った犯人がこの施設の現状に感化されたとすれば…。
元施設職員 男性

94

人の命だけでなく人の尊厳を奪った事件。人の尊厳を傷つけて自分自身の尊厳を保てるのだろうか。犯人は自分自身を尊敬する存在だと思っているのだろうか。事件をとおして、いろいろと考えさせられる。
永松 教員

95

私の息子は知的障害があります。少しずつでも目に見えて良くなってほしいと思っています。IPS 細胞手術や進化して直すことができれば治したい。これは世間から、障害者家族からどう思われるでしょう。
深町忠男 (手をつなぐ育成会)

96

事件の第一報を聞いた時の驚きは今も忘れません。自分が支援している障害者を殺してしまうことを何がそうさせたのでしょうか。思っても普通はやりませんよね。個人の特異性だけで済ませてはいけないと思います。
深町英子 (手をつなぐ育成会)

97

思い出しても「ゾッ」とする事件です。大切な人の命をあまりにも無謀な行動で腹立たしく、怒りを覚えます。例えどうあろうと家族の方にとって、掛替えのない大事な家族の一人です。今後このようなことがないように祈ります。

重見トミ子

98

自分の基準で価値が無いから、人がやらないから自分が代表でやってみたいな全く平常心では考えられないこの事件は、偏見差別の極点だと思います。差別はどこから来るのでしょうか。小学校からじっくり教えたらどうでしょうか。

匿名

99

被害を受けられたご本人とご家族に心から同情申し上げます。犯人のような考えがなぜ生まれるのか、根本から考え対策をとっていくべきではないでしょうか。この事件が繰り返し起きないためにも。

匿名

100

障害者、その家族間でも差別偏見があると聞いたことがあります。偏見差別はいろんなところにある様に思います。障害者の生活は周りの人(健常者か主)によって支えられているのも事実です。この事件をどう見たらいいのでしょうか。

障害児を持つ母

101

問答無用で突然切り付けられ殺された人。その家族は言葉で言い表せない怒り悲しみを感じられたことと思います。そう思うと私も言い様のない怒りを感じ、どうしてこんな事件が起きるんだろうと思います。

65歳 主婦

102

この事件で不可解なことがあります。事件前の植松の行動と、関わった人たちのことを考えると、殺人と傷害は防げたと思えてなりません。それと、施設側の役員の責任問題はどうか裁かれるのでしょうか。

50歳代 男

103

「障害者だって権利がある」ということに胡坐^{あぐら}をかいて謙虚さを書いているような家族、介助者を見ることがあります。いやな気になることがあります。

20歳代 女性

104

ニュースを見た時は言葉がありませんでした。あんな人を事前に補導するようにはできない者でしょうか。せいしん障害者は何をするかわかりません。もうこんなことは起こってほしくありません。

主婦 会社員

105

犯人が異常な考えを持ったまま死刑によって亡くなっていくということは、その考え方を犯人に反省させることもできず、尚且つ、これに同調する人たちの考えを生かしてしまう危うさがあることを知るべきです。

一市民

106

身勝手な行動で命を奪う。この残忍な犯行を許せない人が大半を占める。また、事件が起こり不安を抱く人が増加したかもしれない。周囲に助けてくれる、支えてくれる人が多くいることも、事実であり、声をかけてほしい
匿名希望

107

命の重さを誰一人として、はかれるものはいない。その一言に尽きる。と思います。
匿名希望

108

日常生活に戻ると、自然と事件のことを忘れてしまうと思う。年に一度のメッセージのような形で、思い出し改めて考え機会を得ることは大切だと感じる。
匿名希望

109

いかなる理由があろうと殺人という手段を用いる事は決して許されない。犯人の主張も、とても幼稚で自己中心のかつ、非道徳的なものだ。人は誰しも、自分以外の誰かの存在によって生きている事を自覚する必要がある。
匿名希望

110

早いもので、相模原事件が4年経とうとしています。何も罪がない人達、ご家族にとっては、何故？という疑問、犯人を許す事は絶対出来ないという心情があると思います。二度と事件が起きないように私たち皆が振りかえなければいけないと思います。
匿名希望

111

同じような支援が必要な子ども達と関わっているものとして、考えられる出来事です。心が痛みます。どんな理由があっても、他の人の命を奪う事は出来ません。誰にも出来ません。その方達の事をもっと理解して欲しかったです。
匿名希望

112

相模原事件から約4年がたつ。人権をさげすむ思想が、被告にうまれる背景には何があったのか、障害の有無に関わらず、1人ひとりが大切にされる共生社会を築けていく為にも、日頃の自分自身を振り返っていかうと思う。
匿名希望

113

相模原事件から早くも4年。すでに、忘れ去られようとしています。自然災害と一緒になのでしょうか。災害は忘れた頃にやってくる。二度と繰り返さないために私たちがすべきことは、語り継ぐことです。
筑後市ボランティア連絡協議会 匿名

114

判決後「大きな区切りではあるけれど終わりではない」と遺族の言葉が心に残った。これからも事件を忘れず、問い続け、発信していきたい。障害者が地域で自分らしく暮らし、何よりも命が守られる共生社会を目指して。
東 聖二 (自立生活センターちくご)

115

4年前、19名の方が亡くなられ、多くの方が傷をおわれました。どうしてこのような事件が起きたのか理解できずにいます。“死刑”の判決を聞いた時、私の中で何かプツンと切れました。私は最後まで生きてほしいと思います。 自立生活センターちくご 匿名

116

犯人が反省もせずに死刑で事が終わり、原因追及ができなければ、再び同じ悲劇が起こり得ると思います。施設で日常的な虐待が行われていたような報告もあり、しっかり検証していくことが求められます。 男性 60歳代

117

優生思想は(自分のことを除外して)、優秀なものを残し、劣等なものは切り捨てていく、という考え。何が優秀で、優秀でないか？人間、だれしも年を取り、できなくなることだらけになっていくそんな人間も切り捨てるのか？ 会社員 男性

118

あんな大きな事件を起こした背景にもっと迫るべきだと思います。一人の犯罪者を「死刑」という判決で終息させるのは早すぎませんか(!?)このような人間を作らない社会のあり方が大事だと思います。 女性 主婦

119

相模原事件賛同不安視人間分岐点擁護格差社会異常貧困社会障害差別優生思想障害者差別解消法生産性精神的肉体的疲弊切捨表裏一体不要論有用性競争原理分離分断排除匿名連帯少数多数行動継続安全安心居場所必然皆平和 ボラ連 匿名

120

やまゆり園で起こっていた虐待や身体拘束の実態が第三者委員会から報告された。犯人が入職時「福祉は天職」と言っていたにも関わらず、「生きる資格がない」と言うようになった背景は徹底的に解明されなければならない。 匿名 男子

★人間の「生きる資格」を提起したこの事件、
「生きる資格」を自ら問う人はいるだろうか★

【筑後市障害者協議会】

★100文字メッセージ2020事務局★

①年輪の園 (〒833-0002 筑後市前津 1,965 - 1)

☎53-8211 /mail : nenrin@ceres.ocn.ne.jp

②筑後市手をつなぐ育成会 (〒833-0052 筑後市高江 618-7)

☎52-5846 /mail : gcb000634656@leo.bbq.jp

③自立生活センターちくご (〒833-0031 筑後市山ノ井 4-1)

☎53-6468 /mail : cil-chikugo@sky.plala.or.jp

④わかたけ作業所 (〒833-0007 筑後市鶴田 474)

☎52-0747 /mail : wakatake1@iaa.itkeeper.ne.jp

★協賛施設 慈久園 (〒835-0022 みやま市瀬高町文廣 2049)

☎0944-63-6200 /mail : jikyuen@poem.ocn.ne.jp

★参加施設・団体★

〈年輪の園〉〈筑後市手をつなぐ育成会〉〈自立生活センターちくご〉
〈ちゃお・ちゃお〉〈わかたけ作業所〉〈桜園〉〈浩明寮〉〈慈久園〉
〈筑後市社会福祉協議会〉〈筑後市ボランティア連絡協議会〉
〈福岡県立筑後特別支援学校〉〈その他〉